

西成連区新しいコミュニティ推進協議会だより

第2号

■発行日：平成二〇年一月一日 発行者：西成連区新しいコミュニティ推進協議会

一宮市小赤見字郷浦五三（一宮市西成出張所内）

電話：28-9002 ■

盛会だった西成エリアミーティング

谷一夫・一宮市長が基調講話

西成の恵まれた豊かな環境を大切に

西成地域のあり方を模索・検討する「西成連区新しいコミュニティ推進協議会」が発足したことを機に、去る8月27日、西成公民館（出張所）2階大会議室に、一宮市長の谷一夫氏を招き、西成エリアミーティングを開催しました。

当日の出席者は121名にも及び、会場は補助席を用意するほどの盛況でした。

谷一夫・一宮市長の基調講話をお聞きしたあと、お出かけいただいた西成連区のみなさんから、これからの西成についての夢や、熱い思いをお聞かせいただき、後世に誇れる「ニュー西成連区」づくりを目指した数々の発言を頂きました。

西成の成り立ちと歴史を踏まえ、現在の姿を見つめながら、これからの新しい西成づくりについて、有意義なお話し合いができたと思います。

●基調講話（一宮市長・谷一夫氏）

一宮市を築き上げてきた繊維産業は大きく変貌し、行政も中央集権から地方分権に移っています。行政と、地域に根づいてきた住民が積極的に参加いただき、相互に連携を保ちながら、街づくりをするチャンスが到来しています。

一宮市も合併を重ね、今では38万人を擁する大一宮市に発展いたしました。その歴史と伝統を生かすことが出来るように、連区制が堅持されています。西成連区は、地域の特殊性を生かし、活発な活動を展開されており、自信と誇りを持てる地域であります。

地域への交付金は、今ひも付きになっていますが、みなさんの総意で特色ある事業を展開できれば、統合し濃淡をつけることで、より一層充実した事業ができると思います。西成のみなさんが、目標をもって議論を深め、新しい西成づくりが出来るよう祈念いたします

10名の発言者のワンポイント発言要旨

- 地域への奉仕活動（MAC）郷土への奉仕活動を旗印に、世代を超えた仲間づくりをしました。これからの課題は、地域の伝統催事にも積極的に参加すること。
- 伝統のまつりを受け継ぐ（芝馬祭り保存会）小さな部落の小さな祭りですが、江戸代から受け継がれ指定された無形文化財。次代に引継ぐ責務を痛感している。
- 西成地域の街づくり（西成地域振興会）昭和12年に商工会として創設。観光資源の開発や情報を発信をしている。楽しく生活できる街を提言していきたい。
- 公民館の夏祭り（西成公民館）西成4校下（瀬部・西成・赤見・浅野）の皆さんが一堂に会するチャンスです。今年はチラシ、回覧版、TVでPRに努めました。
- 地域の子供たちを見守る（児童育成協議会）地域の小学生を対象に、地域ごとに子供会があり、活動しています。西成の将来を背負う子供たちを見守ってください。
- 老人クラブの活動（穂波会）地域の老人が相互に親睦を図ることを目指し設立された。事業としては、ちびっこ広場の清掃や名画鑑賞会などを企画、開催している。
- 無農薬（スローフード）野菜を求めて（自家菜園グループ）雑草が繁茂し不法投棄でゴミの山だった農地を、地主の了解を得て家庭菜園を楽しんでいる。管理に苦労。
- 西成のスポーツ団体活動（体育指導委員）老若男女が楽しめるニュースポーツ（インデアカ等）の普及を図っているが、参加者が年々減少し残念です。
- 児童の日常生活（瀬部小学校）児童の特徴は素朴で純情であり、地域は学校教育に寄せる期待は大きい。屋外での遊びが減少し、交友関係が希薄になった。
- 地域の要支援者活動（民生委員）児童の虐待が増加している。独り暮らし老人の動静や生活の様子を知ることは、年々困難になってきた。生命の尊さを重視している。（限られた文字数のため、要旨が充分記載できなかったことを謝す。文責：記者）

新しい地域づくり協議会 組織や活動について意見聴く

西成連区新しいコミュニティ推進協議会では、右の協議会日誌に掲載したように会議を重ね、いよいよ新年度からスタートする「新しい地域づくり協議会」の組織と活動について、諸団体の代表や住民からご意見を聞く会を、12月13日、西成公民館で開催した。

当日は、谷一宮市長も同席され、西成連区の新生協議会活動に大きな期待をしているとのご挨拶があった。

会議では、西成連区新しいコミュニティ推進協議会での経緯報告をしたあと、西成連区での活動のキーワードを設定するために実施したアンケート調査の結果、活動部会が担当する事業項目案などを説明した。

引続き、新年度に立ち上げる予定の「新しい地域づくり協議会」

満足度・重要度を調査

西成住民800人にアンケート

西成連区内で実施されている、各種の事業について、住民が感じている満足度や重要度などを調査し、今後の新しい計画作りの参考にするため、連区民800名にアンケート調査を実施した。

その結果は膨大だが、一端を紹介すると、「住みよい」と答えたものが70%もあった。また、西成をよりよくするためには「安心・安全」「便利」「快適」「ふれあい」「活気」が必要だと訴えていた。

一方、西成の行事や活動に「参加したことがない」が60%を占め、時間の余裕、きっかけ、仲間がない、と回答したものが半数以上もあった。

「満足度による順位」は、評点が低いものの、伝統・文化、生涯学習（公民館活動）、スポーツ振興が挙げられ、「重要度による順位」では、防犯、防災、交通安全、高齢者福祉、が挙げられていた。

詳しくは、アンケート調査報告書を、事務所でご覧ください。

の会則案のほか、キーワードや部会構成案を提示し、協力を依頼した。

●キーワード

①安心・安全②連携③自立

●部会構成

①地域福祉②生活・環境・衛生
③交通・防犯・防災④健全育成⑤地域振興・保全⑥広報

協力者、諸団体に聞く

地域活動についてヒアリング

西成エリアミーティング（おもて面紹介）を開催したとき、今後魅力ある地域づくりを企画・運営する機会があれば、参加して協力すると意思表示のあった19名のうちの10名の方々に、9月18日、お集まりいただいた。

席上では、日常生活の中でのお考えをお聴きし、新年度にはスタートさせる「新しい地域づくり協議会」への協力を要請した。

また、西成連区内でご活躍中の諸団体から16名のご参加をいただき、9月20日、団体代表者会議を開催した。

当日は、諸団体が現在実施している主要事業の内容や、今後実施を予定している新たな事業計画などについて、ご報告をいただいた。

これらの2会議で得られた、貴重な意見や情報については、今後の活動に生かし、新しい西成連区の明日を築き上げる、原動力として反映させていきたい。

西成連区 新しいコミュニティ協議会 活動日誌

5月 7日 社会福祉協議会で企画政策課から趣旨説明

6月 4日 役員構成を検討・連区の現状・統合の考え方説明

7月 2日 スケジュール検討・会報発行・新しいコミュニティの考え方・地域活動の現状報告

7月24日 エリアミーティング開催決定・今後の進め方検討

8月10日 エリアミーティングと会報誌の内容の協議

8月14日 会報第1号全戸配布

8月21日 エリアミーティングの素案策定

8月22日 エリアミーティング内容決定・パネリスト依頼

8月27日 エリアミーティング開催（参加者121名）

9月 5日 エリアミーティングアンケート結果報告・連区民への無作為の意識調査実施決定

9月18日 参画協力者とのミーティング開催

9月20日 諸団体代表者とのミーティング開催・活動を聴取

9月25日 無作為による意識調査案決定・組織の検討

10月 1日 意識調査の依頼と調査票の発送（19日締め切り）

10月 6日 役員・組織の素案づくり

10月 9日 組織図（案）と新組織の規約検討

10月30日 意識調査結果の報告・内容の検討

11月14日 新組織の役員（案）と新組織規約の審議

11月19日 諸団体代表者と協力者会議の開催決定

12月13日 新しい地域づくり協議会（仮称）の設置説明会

編集後記 謹賀新年 本年も引き続き、よろしくご教導下さいますようお願い致します。編集子